

調査委員会における調査研究報告書

教科名（ 国 語 ）

No.1

| 調査研究の観点 | 所 見 | | |
|----------|--|---|---|
| | 発行者（ 東京書籍 ） 発行者番号（ 2 ） | 発行者（ 三省堂 ） 発行者番号（ 15 ） | 発行者（ 教育出版 ） 発行者番号（ 17 ） |
| 1 内 容 | <p>①「話すこと・聞くこと」の内容は、メモの取り方やスピーチ原稿の例が示されており、基礎・基本の力を身に付けることができる。活動の流れは詳細な記載があり、巻末資料には題材例一覧がある。</p> <p>②「書くこと」の内容は、第1学年～第3学年まで、比較的発達段階に合った内容である。題材例は多様であり、生徒の興味・関心に合わせて選択や設定ができる。</p> <p>③「読むこと」の教材の内容は、文学的文章、説明的文章、古典ともに概ね適当である。現代の人気作家の作品も取り上げている。「てびき」では、読解の際のポイントを示している。</p> <p>④文法は、導入で絵や図を用いており、工夫されている。</p> <p>⑤言葉に関する内容は、「広がる言葉」や巻末の「言葉を広げよう」で生徒の語彙力を高めるための工夫がされている。</p> | <p>①「話すこと・聞くこと」の内容は、第1学年～第3学年まで、第1単元が「話し合いのこつ」で、基礎・基本の力を身に付けることができる。活動の流れは詳細な記載があり、題材例も多様である。</p> <p>②「書くこと」の内容は、第1学年～第3学年まで、比較的発達段階に合った内容である。題材例は多様であり、生徒の興味・関心に合わせて選択や設定ができる。</p> <p>③「読むこと」の教材の内容は、文学的文章、説明的文章、古典ともに概ね適当である。「読み方を学ぼう」では、読解の際のポイントの図解を用いて示している。</p> <p>④文法は、導入が簡潔にまとめられている。</p> <p>⑤言葉に関する内容は、「語彙を豊かに」で教材と関連のある語句をきっかけに、生徒が言葉への興味・関心を高める工夫がされている。</p> | <p>①「話すこと・聞くこと」の内容は、スピーチが中心の内容である。活動の流れは簡素な記載があるが、題材例はなく、原稿の完成例のみ記載がある。</p> <p>②「書くこと」の内容は、第1学年～第3学年まで、発達段階を考えるとやや難しい内容である。題材例は、社会問題を中心としている。</p> <p>③「読むこと」の教材の内容は、文学的文章、説明的文章、古典ともに概ね適当である。「学びナビ」では、読解の際のポイントを詳細に示している。</p> <p>④文法は、導入がほぼ会話文のみで記載されている。</p> <p>⑤言葉に関する内容は、巻末折り込みに「理解・表現に役立つ言葉」があり、さまざまな活動の際に活用することができる。</p> |
| 2 構成・分量 | <p>①本編・基礎編・資料編の3部構成されるとともに、各教材で、主体的に課題を見付ける「目標・問いかけ」、ポイントを押さえる「言葉の力」、身に付けた力を自分の言葉で確かめる「振り返り」の3つのステップで構成されている。</p> <p>②各教材に「言葉の力」として、身につける資質・能力についての記載がある。</p> <p>③古典作品は、各学年3作品ずつ掲載されている。解説、原文ともに分量が多い。</p> <p>④著名人の薦める本やテーマごとの読書案内などがある。また、読書と情報活用能力を関連付けた読書活動の紹介がある。</p> | <p>①必修内容を学習する本編と、実践的な方法や社会生活に関する資料編の2部構成となっている。</p> <p>②各教材冒頭に目標があり、教材の最後には学習の振り返りができるようになっている。</p> <p>③古典作品は、第2学年の随筆に短い文章のものを原文で複数載せている。</p> <p>④作家の読書体験の記事や読書案内など、読書に関する内容が多く記載されている。また、ブッククラブ・ビブリオバトル・ブックトークなどの読書活動の紹介がある。</p> | <p>①本編と言葉と文法、言葉の自習教室に分かれた3部構成となっている。</p> <p>②各教材冒頭に目標があり、教材の最後には学習の振り返りができるようになっている。</p> <p>③古典作品は、各学年解説、原文ともに短く分量は少ない。</p> <p>④単元に関連した読書案内や図書館活用、情報活用についての記載がある。</p> |
| 3 表記・表現 | <p>①文字は特別な明朝体で、文字サイズは第1学年が大きめに配慮されている。</p> <p>②色彩はカテゴリー別で色を分けており、第1学年～第3学年まで配色が共通している。色彩による識別ができる。</p> <p>③古典教材は、口語訳が赤で書かれて原文と比較しやすくなっている。</p> | <p>①文字は独自のUDFONTで、文字サイズは第1学年が大きめに配慮されている。</p> <p>②色彩は第1学年が橙、第2学年が緑、第3学年が青を基調とした配色になっている。</p> <p>③古典教材は、口語訳が青で書かれて原文と比較しやすくなっている。</p> | <p>①文字はUDFONTで、文字サイズは第1学年が大きめに配慮されている。</p> <p>②色彩は第1学年が緑、第2学年が橙、第3学年が青を基調とした配色になっている。</p> <p>③古典教材は、口語訳が青で書かれて原文と比較しやすくなっている。</p> |
| 4 使用上の便宜 | <p>①表紙はつやなしマット用紙を使用しており、折り目のラインは入っていない。</p> <p>②1ページ最大で17行で記載している。</p> <p>③QRコードは「教科書の使い方」に記載している。</p> <p>④見開きページに絵と詩が記載されている。</p> <p>⑤本文の行数の表示は5行ごとに数字で記載されており、数字以外の行に橙色の点が記載されている。</p> | <p>①表紙はつやなしマット用紙を使用しており、折り目のラインが入っている。</p> <p>②1ページ最大で18行で記載している。</p> <p>③QRコードは巻末「読書の広場」に記載している。</p> <p>④見開きページに絵と題名が記載されている。</p> <p>⑤本文の行数の表示は5行ごとに数字で記載されている。</p> | <p>①表紙はつやなしマット用紙を使用しており、折り目のラインは入っていない。</p> <p>②1ページ最大で16行で記載している。</p> <p>③QRコードは「目次」に記載している。</p> <p>④見開きページに写真が記載されている。</p> <p>⑤本文の行数の表示は5行ごとに数字で記載されており、数字以外の行に黒色の点が記載されている。</p> |

調査委員会における調査研究報告書

教科名（ 国 語 ）

No.2

| 調査研究の観点 | 所 見 | | |
|----------|--|-----------------|-----------------|
| | 発行者（ 光村図書出版 ） 発行者番号（ 38 ） | 発行者（ ） 発行者番号（ ） | 発行者（ ） 発行者番号（ ） |
| 1 内 容 | <p>①「話すこと・聞くこと」の内容は、第1学年の第1単元で発表の仕方やメモの取り方の説明があり、基礎・基本の力を身に付けることができる。活動の流れは詳細な記載があり、題材例の記載もある。</p> <p>②「書くこと」の内容は、第1学年～第3学年まで、発達段階に合った内容である。題材例は、学校生活や実生活と結びつけられる内容を中心としている。</p> <p>③「読むこと」の教材の内容は、文学的文章、説明的文章、古典ともに概ね適当である。現代の人気作家の作品も取り上げている。「学習の窓」では、読解の際のポイントを示している。</p> <p>④文法は、導入が簡潔にまとめられている。</p> <p>⑤言葉に関する内容は、語彙力を高めるための教材が充実しており、巻末の「語彙を豊かに」を合わせて活用することができる。</p> | | |
| 2 構成・分量 | <p>①「本編」「文法・漢字・振り返り」「学習を広げる」「資料」に分かれており、言葉の力を総合的に身に付けられるような構成となっている。</p> <p>②各教材に、生徒の主體的な学びを促すため、学習過程が記載されている。また、自分の言葉で振り返りが書けるように設定されている。</p> <p>③古典作品は、各作品における重要な場面を端的に取り上げている。第3学年では、高校古典への接続を考慮した名句・名言集がある。</p> <p>④読書教材が各学年で取り上げられており、資料編では近代文学の系列が設けられている。読書教材と関連して、読書案内のページがある。</p> | | |
| 3 表記・表現 | <p>①文字はUDFONTで、文字サイズは発達段階を考慮して、第1学年が大きくなっている。</p> <p>②色彩はカテゴリー別で色を分けており、第1学年～第3学年まで配色が共通している。色彩による識別ができる。</p> <p>③古典教材は、口語訳が青で書かれて原文と比較しやすくなっている。</p> | | |
| 4 使用上の便宜 | <p>①表紙はつやなしで表面に細かい突起があり滑りにくく、折り目のラインは入っていない。</p> <p>②1ページ最大で17行で記載している。</p> <p>③QRコードは裏表紙を始め教材ごとに多数記載されている。</p> <p>④見開きページに写真と詩、写真が2ページに記載されている。</p> <p>⑤本文の行数の表示は5行ごとに数字で記載されている。</p> | | |